

おくはら とおる 奥原徹副町長が 就任



就任のご挨拶

このたび、町議会におきましてご同意を賜り、4月1日付けで奥出雲町副町長に就任いたしました。

私は、松江市出身で、東京の民間企業に勤務した後、平成7年に島根にUターンし、県職員となりました。以来、産業振興や財政、医療、過疎・中山間地域対策などに携わってきました。

副町長という職責の重さに身の引き締まる思いではありませんが、これまでの経験とネットワークを生かし、奥出雲町発展のために誠心誠意努力してまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、日本全体が直面している人口減少は、今後さらに進むことが予想され、奥出雲町においても例外ではなく、平成26年6月1日の推計人口から1万4000人を割り込み、依然として人口減少に歯止めのかからない状況です。このことは、域内経済の縮小、産業や地域運営の担い手不足など、様々な面において影響を与えてまいります。

一方、近年都市住民のなかでも団塊の世代はもとより若者も田舎暮らしやふるさと回帰志向が高まっています。町内には、古くから息づいてきた歴史や文化、豊かな自然や美しい景観、ブランド力のある農畜産物、地域資源をベースにした様々なビジネスの創出、技術力の優れた企業など多くの魅力ある地域資源があり、これからの大きな可能性のある地域だと感じています。

これまで、町民の皆さまがその地域に暮らし、今日まで豊かな自然を守り、伝統文化を継承し、そして、次の世代にこれを引き継いで来られました。そして、これからも元気で心豊かに住み続けたいと思います、町外の人が住んでみたいと思えるまちづくりに向けて、町民の皆さまの思いを大切に未来につなげていけるよう、町長を補佐し、職員と力をあわせて一歩一歩前に進んでいきたいと思えます。若輩者ではありますが、町民の皆さまのご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶いたします。



就任の様子



まつうら ひろりのり 松浦士登副町長が 退任

3月31日、行政各般にわたりご尽力いただきました松浦士登副町長が退任されました。

松浦副町長は平成26年11月の就任以来、2年5カ月にわたり町政運営にご尽力いただきました。島根県職員として培った人脈や知識をもって、地方創生に係る「奥出雲町まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「人口ビジョン」の策定、企業との協定締結や「T企業誘致」などの町の発展に多大な貢献をされました。

松浦副町長は、「2年5カ月という短い間でしたが、奥出雲町の活性化や着実な町政運営に向け、町長を補佐しながら精一杯努めさせていただきました。市町村という県民に一番身近な行政のやりがいや難しさなど、たくさんの貴重な経験をさせていたことができました。島根県に戻った後もご縁をいただきました奥出雲町の発展に協力したいと思います。」と感謝の言葉を述べられました。

本当にありがとうございました。



そろばんがご縁を結ぶアクセサリーに 「ento(エント)」誕生

町では雲州そろばんの産地を守る会と連携し、町の伝統産業である雲州そろばんの新たな価値を求め、雲州そろばんの新ブランド「ento(エント)」を立ち上げました。「ento」では、「様々な「ご縁」を結ぶ」をコンセプトに雲州そろばんをこれまでにないカタチで発信していく予定です。

3月9日には、創業200年以上を誇る浜田市の石州瓦の窯元「亀谷窯業株式会社」とのコラボレーションで試作したネックレスやブレスレットなどのアクセサリー16点を発表しました。今後、商品化に向け取組んでいく予定です。



奥出雲の神話とたたらを考える シンポジウム&たたら体験

3月18日、横田コミュニティセンターにおいてシンポジウムが開催され180名が参加しました。

漫画家で日本遺産選定委員の里中満智子さんによる基調講演があった後、パネルディスカッションが行われました。里中さんと同じく日本遺産選定委員である丁野朗さん、下村彰男さん、町教育委員会社会教育課の高尾昭浩課長をパネリストに迎え、たたらへの価値や日本遺産の活用方法などについて討議されました。

19日には、古代たたら体験工房でたたら体験が行われ、県内外から総勢100名が参加し、7時間の操業で25kgの鋼が生産されました。

写真:パネルディスカッションの様子

自衛隊入隊予定者激励式

今春より自衛隊員として働く奥出雲町出身者の自衛隊入隊予定者激励会が3月7日に役場仁多庁舎で行われました。自衛隊への入隊は本町では2年ぶりとなります。

勝田町長から入隊者の荒木航さん(阿井)に対し、「奥出雲町出身者としての誇り、町民の期待を背に入隊していることを忘れず、使命感溢れる自衛隊員として活躍して欲しい」と激励の言葉がかけられました。

荒木さんは「一日でも早く国民のみなさまに信頼される自衛官になりたい」と決意を表明されました。



写真:入隊予定の荒木航さん(前列中央)



川東水路を利用した小水力発電を導入 阿井発電所運転開始

平成26年度から施設整備を実施していた阿井発電所が完成し、3月23日に、運転開始式が行われました。

式には、県雲南県土整備事務所の高橋裕司所長をはじめ多くの来賓が出席し、阿井発電所の運転開始を祝いました。

式典の後、参加者は発電所内に移動し、勝田町長が運転開始のボタンを押し、水車と発電機が動くのを見届けました。

写真:阿井発電所

学び舎からの巣立ち 専門学校2校で卒業式

町内の専門学校2校の学生が夢と希望を胸に卒業式を迎えました。

3月10日にカルチャープラザ仁多で行われた島根リハビリテーション学院の卒業式では、理学療法学科25人、作業療法学科19人の卒業生が新天地へと巣立ちました。

3月16日には島根デザイン専門学校の卒業式が行われ、ビジュアルデザイン科の4人の卒業生が、数々の作品を生み出した学舎を後にしました。



感謝の言葉を述べる荒木詠美子さん(リハビリテーション学院)

答辞を述べる深石直希さん(デザイン専門学校)

結婚・子育てコンシェルジュが決定 切れ目のない支援を提供

結婚・子育てコンシェルジュ委嘱書交付式が3月27日、奥出雲町役場仁多庁舎で行われました。

仁多地域から2名、横田地域2名の計4名の方がコンシェルジュに就任され、平成32年3月26日までの3年間活躍いただく予定です。

5月より町内の施設で相談所を開設し、結婚・妊娠・出産・子育ての身近な相談役として、情報提供や関係機関への連絡調整が行われます。



写真:左から石原晴代さん、踏江つや子さん、植田美由紀さん、若月ゆかりさんが就任